

名前：

最近テレビはなくても、コンピューターはあるという人が多くなってきた。その分、使用時間もコンピューターの方が長いぐらいだ。テレビで見られるのは何でもインターネットで見られるからだ。

テレビとか新聞、雑誌などとは違く、記事を書いてのせるのが全然早いわけで、書く人も読む人も、わざわざ新聞や雑誌が出るのを待たずに、インターネットを利用するのが楽だ」ということだ。

だが、そういう点で問題がある。早く書けるし早く読めるからこそ、ちゃんとかくにんせず記事を書くのだ。

また、かくにんせず出した記事に記者はせきにんを持たず、ただその記事を削除するだけだ。結局さがつけるのはその記事の当事者である。

かくにんせず記事を書き、真実じゃないか。たらこ、そり記事を削除する。これはまるで自分のブログに日記を書く人に過ぎないの

だ。

もちろん、ニュースというものは早ければ早いのが良い。だけど、その目的を忘れてまでにして早い必要はないのだ。

インターネットで読むのが早くて便利でお金もかからない。この事実はひてりしにくく。だから、読者にインターネットで記事を読むのはやめてくださいとは言えない。また、記者にインターネットには記事を書かなくてくださいとも言えない。でも少なくとも、手本にのこる新聞や雑誌などの記事がくたらないと思うのはやめてほしい。新しいものは古いものから生まれたものだ。